



「よその医療機関で痛い思いをしたから、今度は別のところだと思って受診した」とおっしゃる患者さんが結構いらっしゃいます」

そうした患者たちが、野村院長が行う内視鏡検査を受けて、「内視鏡検査はこんなに楽だったのか」と一様に驚くという。おそらく、そうした患者たちの「あそこの医者の脳は確か」という感想が口コミで広まったのではないだろうか。近所同士のつながりが強い地域ゆえに、その広がりが相当速かったに違いない。

新しい医療連携のかたち、クリニックビレッジ

かつしか野村クリニックの大きな“売り”は、この内視鏡検査の技術の高さにほかならない。それは、野村院長自身、開業するときから意図したことだという。

「かかりつけ医として何でも診ることはできけれど、専門も持ち、それに関しては一流総合病院並みの技術と設備を整えたクリニックをつくらなかったのです。ですから、私の専門である内視鏡検査を行わないクリニックは全く考えられませんでした」

健診の便潜血反応検査で異常が見つかったと同クリニックを受診した人が、内視鏡検査で大腸がんの腫瘍が見つかり早期治療につながった、といった事例がすでにいくつも出てきている。

同クリニックの特色は技術と設備だけではない。総合病院だと通常、外来医と検査医が異なるが、同クリニックでは野村院長が一贯して診ているため、検査説明も含め、患者とのコミュニケーションが十分に図られている。また、総合病院だと予約を入れて実際の検査は1カ月先ということも珍しくないが、同クリニックではできるだけ2週間以内に予約を取るようにしている。検査当日も、総合病院のように患者を何時間も待たせるようなことはない……と、まさに患者本位のサービスが実践できている点も見逃せない。

加えて、野村院長の人当たりの良さが地域の人々をひきつける大きな要因になっているのではないだろうか。

「クリニックの前を通ったら、待っている人が少なそうだったからとあえず寄ってみた」と言いなが

